

〔物類稱呼二〕木啄鳥てらつ、きといけらつ、江戸にてきつ、きと稱す、又東國にてをげらと呼下總にて番匠鳥と云。

〔東雅十七禽鳥〕斬木テラツ、キ○中 テラツ、キの義不詳、即今キツ、キといふものは是也。(中略)東國此物をケラツ、キといふなり、ケラとは俗にムシケラなど云ひて、蟲豸の類を總云ふ事にて、蝶、蛾をのみ云ひし語にもあらず、その木蠹を啄みぬるを云ひて、ケラツ、キといひし語の轉じて、テラツ、キトイフはなるべし、ケテトイフは、即轉聲なり。

〔宜禁本草坤諸禽〕啄木鳥 平無毒、褐者雌、穿木食蠹、主痔瘻及牙齒疳疿、艸牙燒末內牙齒孔中食之治瘡疥、兼治白癩、歷節風。

〔本朝食鑑六林禽〕剉木鳥

訓天豆豆岐木

釋名、啄木

本草鶲源順都盧蠶之名啄木

斬裂樹木取蠹食故剉啄亦據態而名都盧未詳

集解、鶲大於鳩、或小者亦有、種類亦多、頭黃白帶赤面紅而黃、俱有黑斑、背翅尾黑白成斑、或青色亦有、世稱是雌、未詳、觜足皆青色、剛爪利觜、觜如錐長數寸、舌長於啄、其端有針刺、針頭如鋸齒、啄得蠹以舌鉤出而食之、惟旦夕穿木而不息耳、肉氣味甘酸平無毒、主治齧齒痔瘻追勞蟲治多年之癰、舌主治蛀牙最妙、或布裹搔多年之疥癬則愈。

〔本朝食鑑六華和異同〕剉木

啄木鳥也、或稱剉啄、本邦以青色頂有紅毛者爲雌、是山啄木火老鴉乎。

〔和漢三才圖會四十三林禽〕啄木鳥

○中略

蟻吸鳥 按、鶲之小者、舌長於觜、啄蟻及木蠹、俗名蟻吸鳥、本草所謂啄木鳥小者、如雀者是乎、

〔重修本草綱目啓蒙三十三〕啄木鳥

タクミドリ草藻鹽

テラツ、キ和名

キツ、キ江戸

ケラ

ツ、キ仙臺

ヲグラ東國

番匠ドリ下總

一名雷公採藥吏紺珠物

匠木異名

剉木官子京盛